

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	こどもの杜広場のひのび		公表日 2026年2月1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・ゆったり過ごすことができるよう、個別・集団によってスペースの使い方を工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・急な変更以外は適切だと思います。	・スポット利用のご希望の場合は、担当職員以外が対応することがあります。日ごろより担当以外のお子さまについても共有しています。より丁寧に共通理解できるよう心がけてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日しっかりと清掃を行っています。 ・玄関から療育室まで心配りをしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・個別を利用のお子さまが、運動遊びもできるくらいの広さを確保しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	・時間を区切り、どの職員も発言しながら参加できる機会を設けています。	・PDCAサイクルの形は確率していますが、業務の改善には至っていないことがあります。職員で意見を交わし合いながら、改善に努めてまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・もう少し時間を設けても良い、と感じる。	・全体会議の時間を設けていますが、日々の療育の共有や支援会議が中心になっています。業務改善に繋げることができるよう会議の内容を幅広く行ってまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		・現在、第三者による外部評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・研修しています。 ・外部研修に個人で参加し、資質の向上を図っています。	・安全面や虐待防止についてなど、定期的に開催しています。 ・施設内の研修の時間の確保ができるよう努めてまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・保護者と相談しながら、個々のお子さまに合わせた計画を作成しています。お子さまのニーズを把握するよう努めています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・職員間で常に検討を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・共有され、計画に沿って毎回支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			・太田ステージにより評価を行っています。インフォーマルなアセスメントは使用しておりません。今後検討してまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・集団のプログラム立案をチームで行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・利用者の特性などを考慮し、変化の幅を考えながら工夫をしている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			・個別・集団どちらも必ず振り返り、気付いた点など共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			・記録を取り、共有し次へつなげる支援をしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			・モニタリング、適切な見直しは必ず行われています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		・相談支援事業所から連絡をいただくことがありますが、会議への参加の依頼はありません。依頼がありましたら出席させていただきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			・所属園への訪問を実施しています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			・保護者と小学校校長先生との面談に付き添うことがあります。また、ご希望に応じて資料を作成しています。
	28	(28～30は、センターのみ回答)	/	/	/	/
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	/	/	/	/
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	/	/	/	/
	31	(31は、事業所のみ回答)	4			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6			・同グループの保育園の子どもたちと一緒に参加し、おまつりやこども食堂など、機会を作っています。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			・毎回保護者にフィードバックを行い、共通理解を持っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		・把握しきれいません。 ・研修の情報提供は行えておりません。今後、アプリでの連絡を通じて発信してまいります。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			・いつでもご覧いただくことができるよう、玄関に掲示しております。周知徹底してまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			・モニタリングの機会を設け、保護者と半年の様子について丁寧に振り返っています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			・わかりやすい、とおっしゃっていただいています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			・保護者から児童発達支援管理責任者への相談がとても多い。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		・きょうだいの相談も聞かせていただいております。グループ内の共通開催のイベントにご参加いただくことができます。きょうだい同士のイベントを今後検討致します。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	・ご相談がありましたら、期間を開けずに日程の調整を行っております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1	・係を決め、発信する機会を設けています。	・インスタグラムやHPなど、発信する場所はありますが、時間の確保が難しいため、掲載が難しい。定期的に発信できるように工夫してまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・十分留意しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	・毎月2回、のびのびランドを開催し、施設を開放しています。	・グループ内の子ども食堂にご参加いただくことができます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	・マニュアルを確認できていません。	・職員にしっかりと周知できるよう、会議などで共有してまいります。
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・出勤日数が少ないため、参加することができていません。	・参加できない職員にも、後日必ず伝えることができるよう工夫してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		・プロフィール表をご記入いただき、確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			・食事をする機会はありません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			・契約時に周知しております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハットは必ず記入・共有し、再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・法人による研修を毎年行っております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	・契約時に説明を行い、保護者に周知しております。	